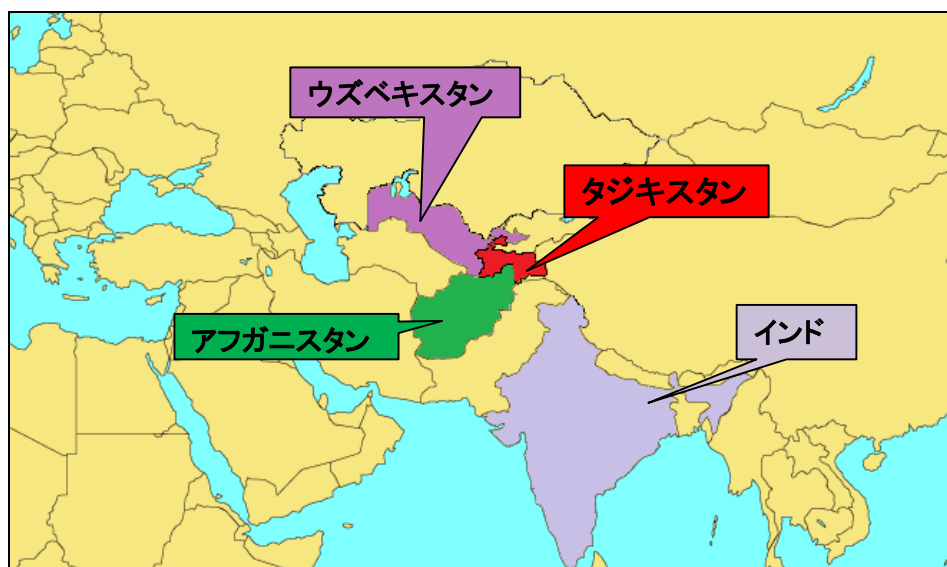


タジキスタンのポリオ流行(更新 1)

2010年5月2日 ProMED 情報(WHO、GAR)



タジキスタン保健省は、2010年1月より急性弛緩性麻痺(AFP)患者数が171名になったと報告しました。このうち32名が野生株ポリオウイルス1型(WPV1)によると確定診断されました。他の患者の結果は未定です。これらの患者の大多数では、過去3週間以内に麻痺が始まりました。死亡患者は12名でした。確定診断された32名中17名が2歳以下で、14名が2～5歳です。6～15歳が1名あります。66%が男性です。麻痺の出現は15名が3月で、17名が4月です。

ワクチン接種歴に関する情報は32名中21名から得られました。2名(約10%)が経口ポリオワクチン(OPV)3回未満、19名(約90%)が3回以上の投与を受けました。

すべての患者が首都ドゥシャンベ Dushanbe を含む同国の南西部から報告されています。この地域はアフガニスタンとウズベキスタンに国境が接しています。

今回のポリオウイルスの遺伝子配列は、今のところ、インドのウッタル・プラデーシュ Uttar Pradesh 州で分離されたウイルスに最も類似していることが確認されています。

今回の流行への対策としてタジキスタン政府は、5歳未満のすべての子供(約110万人)を対象とした3回にわたる補足的ワクチン接種計画を立てています。1回目は5月1日に首都ドゥシャンベ及びその周辺6地区で開始する予定です。残り2回は5月18～22日と6月1～5日に一応予定されています。

また、ウズベキスタンは、国全体の5歳未満の子供たち289万人を対象に、タジキスタンと足並みをそろえて5月と6月に、2回の補足的ワクチン接種を予定しています。

WHOは、現時点では征圧対策としてポリオ流行地域と非流行地域間の国際交通に制限を課さないことを勧告しています。ただし、流行地域へはワクチン接種を適切に受けてから訪れるよう勧告しています。